

イチゴの福島県オリジナル品種は差別化品種としての位置づけが有効

半杭真一

(福島県農業総合センター)

The Differentiation Strategy is Effective to the New Breed of the Strawberry Bred in Fukushima Prefecture

Shin-ichi HANGUI

(Fukushima Agricultural Technology Centre)

1 はじめに

(1) 背景

福島県は、イチゴのオリジナル品種「ふくはる香」「ふくあや香」を育成・活用した生産振興に加え、マーケティングを重視した戦略的な販売促進対策を行っている（福島県「ふくしま食・農再生戦略」）。本稿では、流通し始めたこの2つのオリジナル品種の評価を小売段階の調査から得ることによって、育種・生産にフィードバックすることを目的とする。

(2) 福島県のイチゴ生産について

福島県のイチゴは出荷量が2,560t、うち1,790tが卸売業者に出荷されており、卸売業者の内訳は県内が45%、北海道が37%、京浜が16%である。福島県内の市場入荷量はおよそ2,600tであり、福島県内産の割合は49%である（2004年実績）。

オリジナル品種「ふくはる香」「ふくあや香」は2002年に育成を完了、2006年に品種登録を行った。県内で作付されている品種の割合については、「とちおとめ」が55%、「さちのか」が10%であり、オリジナル品種は10%に届いていない（表1）。

2 試験方法

(1) 小売調査の意義

オリジナル品種の評価については、県内の小売業者を調査して得ることとした。これは、オリジナル品種の主な出荷先が県内であり、さらに、小売業者は実際に生産・出荷されているものの品質と、消費者の反応の双方について情報を得ていると考えられるためである。

(2) 小売調査の概要

福島県内のイチゴを取り扱う小売業者を母集団とし、職業別電話帳により標本抽出を行った。サンプルサイズは330であり、110の小売業者から回答を得た。調査時期は2008年2月である。

3 試験結果及び考察

福島県内のイチゴ品種については「とちおとめ」がほぼ全ての小売業者で取り扱われており、オリジナル品種を取り扱っているのはいずれの品種についても20%程度である。また、「ふくはる香、ふくあや香をごぞんじでしたか？」という質問に対する回答で得た品種の知名度について、「どちらも知らない」という回答が24%あったことが注目される（表2）。

品種ごとの評価を明らかにするため、図中に示す質問項目（下線部を略称として用いる）について「そう思わない」を1とし、「そう思う」を5とする5件法による評定法で回答を得た（図1）。回答について因子分析を行って因子負荷量を求め、3因子を抽出した（図2）。抽出した3因子をそれぞれ、「アイテム性：目新しさ、3月食味、棚持ち、3月傷み、信頼感、食味、鮮度、ばらつき、大玉」「市場性：出荷安定、12月量、取り組み、値ごろ感」「イメージ：イメージ、人気」と解釈することとすると、固有値と累積寄与率は、「アイテム性」が3.37（22%）、「市場性」が2.97（42%）、「イメージ」が1.60（53%）である。

因子得点を品種別に見ると、「とちおとめ」の「市場性」が高く、「ふくはる香」「ふくあや香」の「市場性」は「あまおう」に近い。「ふくはる香」「ふくあや香」は「アイテム性」の値が高い（図3）。

4 ま と め

福島県のイチゴオリジナル品種「ふくはる香」「ふくあや香」は、「とちおとめ」主体の県内の生産・流通において、小売業者の取扱と知名度の点で低水準であり、市場でのネームバリューを高める施策が求められるといえる。

また、品種の評価としては、食味や鮮度の点で優れた評価を得ている面もあるが、「市場性」において「とちおとめ」に大きく水をあけられており、総体的には芳しくないといえる。しかし、筆者が行った消費者への調査³⁾から、地元産イチゴのニーズは高いことが示されており、県オリジナル品種であることを標識としていわば「売り」にした生産・販売戦略を構築し、差別化品種としてこれらのオリジナル品種が福島県内の消費者に受け入れられる可能性はある。

従って、市場のデファクト・スタンダードである「とちおとめ」を主な品種として、オリジナル品種「ふくはる香」「ふくあや香」を差別化品種とした位置づけが有効であると考えられる。

引 用 文 献

- 1) 半杭真一．2007．農産物に対する消費者のニーズと購買行動—福島県郡山市におけるイチゴの事例．2007年度日本農業経済学会論文集：231-238．

表1 品種別作付面積（平成17年度、ha）

とちおとめ	41.9
さちのか	7.5
ふくはる香	2.9
ふくあや香	2.3
計	76.1

表2 オリジナル品種の知名度（%）

どちらも知っていた	26
片方のみ知っていた	29
どちらも知らなかった	24
県オリジナル品種がある	11
ということは知っていた	
無回答	10

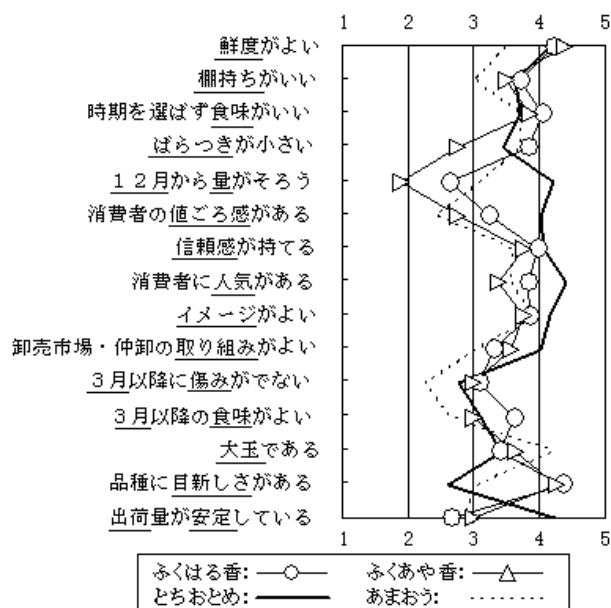


図1 品種別の評価

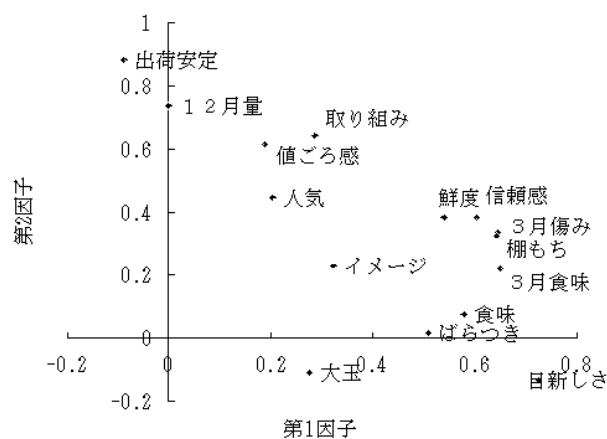


図2 因子負荷量プロット

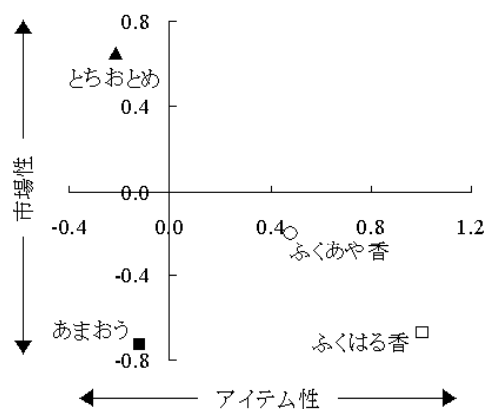


図3 因子得点（アイテム性×市場性）